

今ある住まいがもっと良くなる

断熱リノベーション

「リフォーム」と
「リノベーション」

似たような意味で使われる
ことが多いですがこんな
違いがあります

「リフォーム」は、老朽化した箇所を修復する意味で使われます。例えば、トイレやキッチンを入れ替えたり、外壁塗装をしたりと**その家が建てられた状態に戻す工事**です。

「リノベーション」は、既存の住宅に**新たな機能や性能、価値を付け加える工事**です。例えば、耐震性能や断熱性能を上げたり、機能性の高い現代的なキッチンに変更する工事にもこれに該当します。

冬の家が寒いのは当たり前？

日本では、ストーブやこたつなど人がいる場所だけを暖める生活スタイルが長く続いてきました。その為、**冬の家は寒いものだと思います**と入っているようです・・・(・_・)

冬なら

脱衣所が寒い

夜中に目が
覚める

隣の部屋に行くのに羽織物がある

暖房機器を出す
のが面倒

灯油を買うのも一苦労

窓の結露やカビが気になる

同じ場所から
なかなか動けない

こんな暮らしが
当たり前と思って
いた方に**オススメ**

夏なら

汗たくで
料理してる

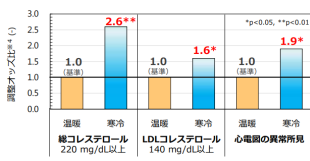
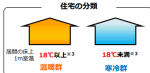
暮らし方を断熱リノベーションで変えませんか？

断熱リノベーションのメリット

①健康的に暮らせる

夏は室温の上昇を抑え快適に、冬は冷気をシャットアウトし暖かく過ごすことができます。**部屋ごとの温度差を無くし、ヒートショックや熱中症の恐れのない快適で安定した暮らしが実現します。**

◆室温18度以上の暖かな家に住む人は**健康診断の結果が良い**ということもわかってきました



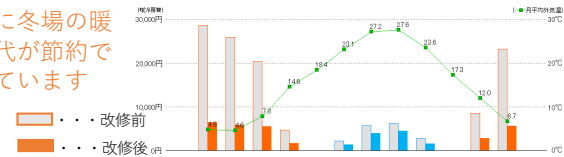
健康結果が基準範囲を超えるオッズ比
国土交通省報道発表資料（2019年1月24日）より

②冷暖房費の節約

外気の影響を受けにくくなるため、**最小限のエアコンで効率よく生活**できるようになります。夏冬のエアコンの立ち上がりも早く、快適な温度が長続きする為、エアコンの負担も少なく**光熱費の節約**にもなります。

◆築30年以上の住宅を断熱リフォームした場合の冷暖房費の比較シミュレーション

特に冬場の暖房代が節約できています



③結露防止

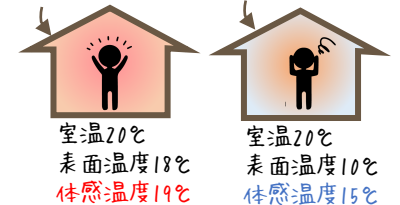
室内の暖かい空気が冷たい壁や窓に当たって水蒸気が結露を発生させます。**結露はカビの発生原因**でもあり、カビ胞子は**アレルギー**を引き起こしたりと体にも良くありません。また構造材の湿気により木部が腐ったりと住宅の**耐久性**にも影響がでてきてしまいます。**断熱リノベ**をすると**室温と壁の温度差が少なくなり、結露の発生を抑える**ことができます。**隙間を塞ぐ気密工事**も**しっかり行うので構造材の耐久性も損なわず家が長持ち**します。

断熱性能と体感温度の関係

断熱性能の低い家では、暖房機器をフル稼働して室温を上げても外気の影響を受けやすく、足元が冷えたり部屋の端が寒かったりと**均一な温度環境**にならず、**体感温度にも差**が出てしまいます。

断熱性能の良い家

断熱性能の低い家



どんな工事をするのかな？

玄関ドア

断熱仕様の商品に交換します
採風付きの断熱ドアもあります

窓

樹脂製の窓に交換、または
既存のサッシの内側に
内窓を取り付けます

壁天井断熱工事

壁や天井に断熱材を入れることによって、**外気からの暑さ寒さが伝わりにくくなります**

床断熱工事

足元の冷えは体感温度にも直結します
床下に断熱材を施工することで、冷気の伝わりを少なくし室内の温度を保ちます